

事案名	加古川市の事案（兵庫県28-3）
分類	その他 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・証言〔1〕 ・証言〔2〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について（回答）」平成15年10月6日〔3〕
資料内容概要	<p>兵庫県加古川市の陸軍航空通信学校において、訓練で赤筒と思われる発煙筒が焚かれ、何人もが涙、鼻水、よだれが出て止まらなかったとの証言がある。</p> <p>その他情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元陸軍航空通信学校神野教育隊特別幹部候補生の証言によれば、「昭和19年12月末に兵庫県加古川市の陸軍航空通信学校において訓練（非常呼集）で発煙筒が焚かれ、煙を吸い込んだところ、涙が出で、鼻水やよだれが出て止まらないようになった。何人もが同様の状態になった。このとき『発煙筒・アカトウをたいている』という叫び声を聞いた。今から思えば訓練の一環として『赤筒』を焚いたのではないかと思う。実際に部隊に『赤筒』がどれくらいあったのか、その後どうなったのかは分からない。しかし、当時の戦友でこのことを記憶している者はいない。」と記載されている〔1〕。 ・同教育隊関係者の証言によれば、教育隊は本来毒ガス弾等を保有するような施設ではなく、毒ガスを使った訓練が実施されたということ聞いたことはないと記載されている〔2〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加古川市の陸軍航空通信学校の跡地は、現在、教育機関、公営住宅、福祉施設、公共施設、個人住宅等として利用されている。周辺地区の井戸水検査結果ではヒ素は検出されていない〔3〕。